

叡啓大学 専任教員募集要項

- 1 所属及び職名 ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科
准教授、講師又は助教 1名
- 2 公募する専門分野 文化人類学、社会学（※調査手法として、フィールドワーク、社会調査を用いる。）
なお、学生の海外プログラムの派遣を担当する。
- 3 担当予定科目及び担当業務
 - 担当予定科目

<主担当科目>

 - ・ 体験・実践プログラム／海外ボランティア、海外インターンシップ、海外短期プログラム
 - ・ 文化人類学概論
 - ・ フィールドワーク研究（令和8（2026）年度までの科目名）
令和9年度から「調査法」等に科目名及び内容を一部変更し、必修科目とする可能性がある。

<全教員共通科目>

 - ・ 卒業プロジェクト
 - ・ 令和9（2027）年度以降は、基礎学修科目（大学での学び、ライティング、主体的な学びの技法等）及び「ソーシャルシステムデザイン入門」をオムニバスで担当する。
 - 学内業務（教務、入試、学生募集、学生支援、進路・就職支援に係る業務等）
 - 地域連携業務（各種学外連携講座、公開講座等）
- 4 応募資格
次の各号を全て満たす者
 - （1）修士の学位、若しくはこれに相当する研究業績又は実務経験を有する者。
 - （2）本学の教育理念を踏まえ、教育研究活動を推進できる者。
 - （3）日本語及び英語で授業が開講できる者。
 - （4）学生の海外ボランティア、海外インターンシップのプログラム運営が担当できる者。
 - （5）アクティブ・ラーニング（学修者の能動的な学修への参加）を促す教授・学修法を用いた、インタラクティブな授業設計・運営ができる者（課題発見・解決学修、体験学修、調査学修や教室内のグループワーク等）。
 - （6）企業や国際機関、大学、NPO、地方自治体等の国内外の様々な主体と連携して教育が実施できる者。
 - （7）他分野の教員や外部の実務家教員等と連携した授業展開ができる者。
 - （8）本学のFD（ファカルティ・ディベロップメント）基本方針に基づき、自己研鑽や授業改善、授業公開、カリキュラム全体の改善などに積極的に取り組むことができる者。
 - （9）学校教育法第9条各号に規定する欠格条項のいずれにも該当しない者。
- 5 応募締切日 令和8年（2026年）5月11日（月）17:00（必着）
- 6 採用予定日 令和8年（2026年）10月1日又はそれ以降のできるだけ早い時期
※ 着任日は内定者との協議により決定する。
ただし、令和9年（2027年）4月1日までには必ず着任する。

7 雇用形態及び期間

- テニユアトラック制で採用する。

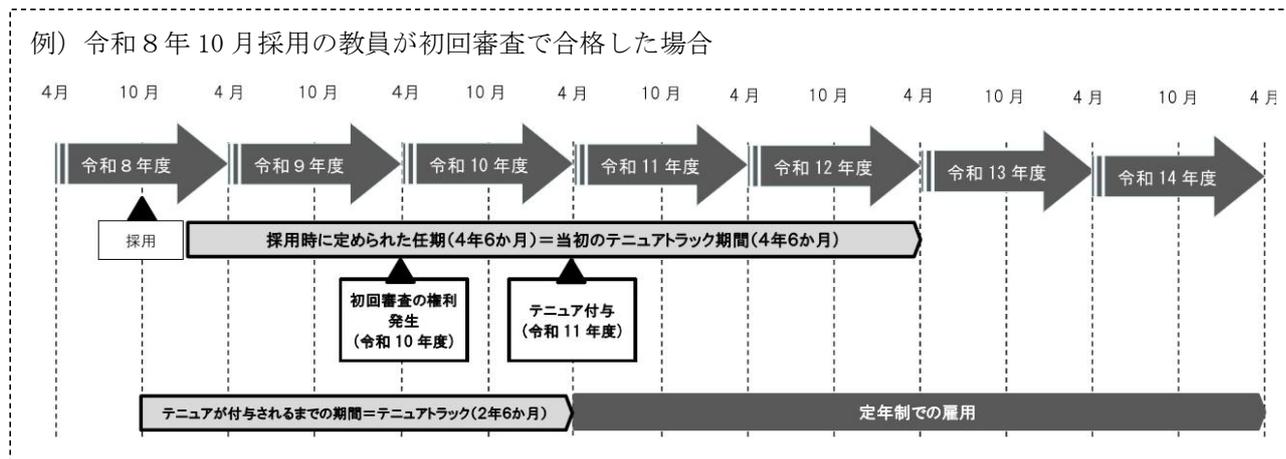
＜テニユアトラック制＞

任期は5年以内であり、テニユア付与の審査に合格すれば、定年制に移行する。

原則として、採用された日から2年に達する日の翌日が属する年度以降に初回審査を受けることができる。

初回審査に合格しない場合は、初回審査を受けた年度の次年度以降に、再審査を受けることができる。

- 定年は満65歳とし、定年に達した日以後における最初の3月31日に退職する。



参考：https://www.pu-hiroshima.ac.jp/reiki/reiki_int/reiki_honbun/u378RG00000409.html
https://www.pu-hiroshima.ac.jp/reiki/reiki_int/reiki_honbun/u378RG00000410.html

8 提出書類

- | | |
|------------------------------------|------|
| (1) 応募票 (様式第1号) | 1通 |
| (2) 履歴書 (様式第2号) | 1通 |
| (3) 教育研究業績書 (様式第3号) | 1通 |
| (4) 著書又は主要論文 (別刷又はコピー可) | 5編以内 |
| ※ (3) の教育研究業績調書の番号を○で囲むこと。 | |
| (5) 本学での教育・研究に対する抱負 (A4、1枚以内、様式任意) | 1通 |
| (6) 課題解決演習の企画書 (A4、1枚程度、様式任意) | 1通 |

【課題解決演習の企画書のイメージ】

- 対象：2年生又は3年生
- 期間：1クォーター (2、3か月)、7週14コマ
- 連携企業など：部品メーカー、食品製造業、サービス業、NPOなど業種を自由に選択
- 内容：企業などと連携した課題解決演習を企画

- | | |
|---|----|
| (7) 研究費 (外部資金) の取得状況 (様式第4号) | 1通 |
| ※ 代表、分担を明示し、取得順に記載のこと (取得実績がない場合は不要) | |
| (8) 次の①又は②のいずれかの書類 (①は応募票に記載すること) | |
| ① 応募者に関する意見を聞くことのできる方2名の氏名と連絡先 | |
| ② 推薦状 (様式任意、推薦者の所属・役職を明記すること。) | 2通 |
| ※ ①、②とも、応募者の専門分野以外の方でもかまいません。 | |
| ◎ 上記 (2)、(3) については、別紙「応募書類作成に当たっての留意事項」に留意して作成してください。 | |
| ◎ 必要に応じて追加資料の提示を求め場合があります。 | |

◎ 指定様式については、本学ホームページからダウンロードしてください。

<https://eikei.ac.jp/news/12828/>

9 審査方法

- (1) 本学教員選考基準に基づき、書類審査及び面接を行います。
- (2) 面接対象者には、別途面接実施日を連絡いたします。
- (3) 面接と併せて、担当予定の「文化人類学概論」の英語での模擬講義（英語のシラバスの提出を求めます。）と、本学での教育・研究に対する抱負などについてプレゼンテーションを求め、質疑応答を行います。模擬講義等詳細は、別途、面接対象者に連絡します。また、必要に応じて、二次面接を実施します。
- (4) 面接審査はオンラインで実施する場合があります。
- (5) 面接（二次面接を含む。）に要する費用は支給しません。

10 応募書類提出先

〒730-0016 広島県広島市中区幟町1-5

叡啓大学 教育企画課 宛

※ 応募書類は、封筒に「叡啓大学教員応募書類（文化人類学分野）在中」と朱書し、簡易書留またはインターナショナル・クーリエ・サービスにより送付してください。

11 問い合わせ先

E-mail : academic-planning@eikei.ac.jp

※お問い合わせはメールでお願いします。

12 勤務地

〒730-0016 広島市中区幟町1-5

13 留意事項

- (1) 応募書類は原則として返却しません。
- (2) 応募書類に記載された個人情報は、選考目的以外には使用しません。
- (3) 候補決定者には、保有する学位（それ以外の学歴を有する方については、最終学歴の卒業（修了）を証明する書類を提出していただきます。